様式２

2024　年　4　月　15　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：LIG五香

実施日程：２０２４年4月１５日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

【自己理解】興味関心に触れる

参加利用者数：１７名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

自分の興味関心を職業選択にどう活かすかをイメージできるようにする。

利用者にとってのメリット：

自分がどんなに興味関心があるのかを知り、それに合った職業例を知る。

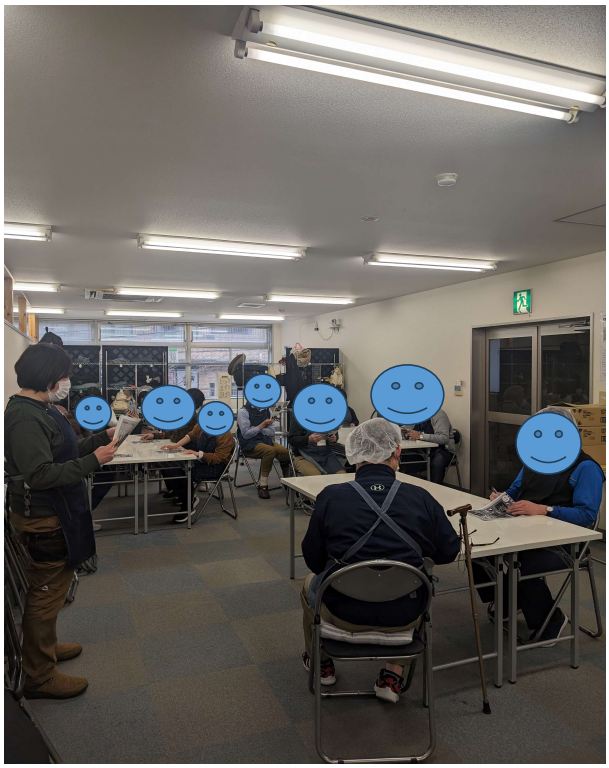
＜成果＞

実施した結果：個々にどのようなことに興味関心があるのか、知ることが出来き、自分のできること（職種）の範囲が広がった。

得られた成果：自分がどのようなことに興味があるか、新しい内面を知ることが出来た方が多かった。

課題点：自分の興味関心を自分の言葉で文章にするのが難しい

＜活動の様子＞



連携先の企業や事業所等の意見または評価

事業所の意見・評価：仕事中はプライベートな面は話はあまりしらなかったので、みなさんが興味関心があることを知れたので、作業を割り振る際に活かしていきたい。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

・文にするのが難しかった。
・自分の興味関心があることから仕事を探すという考えがなかったので、視野が広がった。

様式２

2024　年　5　月　8　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：LIG五香

実施日程：２０２４年５月８日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

【自己理解】働く上で重視する条件

参加利用者数：３０名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

働く上で自分が重視していることに気づく

利用者にとってのメリット：

重視する条件は人によってそれぞれであり、自分が重視していることによって、仕事の探し方、分野が広げることが出来る。

＜成果＞

実施した結果：自分の条件に合う求人内容を確認し就活に活かすには、求人票のどの項目を見ればよいかを知ることが出来た。

得られた成果：自分が働く時に重視することに気が付き、仕事を探すときの糸口を見つけることが出来た。日々の勤怠などの意識づけにもなった。

課題点：新しいことを始めるには勇気がいり、いままでやった事のある仕事以外は手を出しにくいという意見が多かった。

＜活動の様子＞

連携先の企業や事業所等の意見または評価

事業所の意見・評価：みなさんの意見の中で、やはり体調面を気にされている方が多く見受けられました。
皆さんの不安が少しでも和らげられるよう、不安なく働けるよう配慮していきたい。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

・文章にするのが難しかった。
・自分の体調も優先したいが、自分の興味関心がある仕事のある職種であることも優先にしたい。体調と職種と自分のなかでバランスを考えながら職探しをしていきたい。
・身体面の不安があるが、働きたい職種が見つかるか不安がある。

様式２

2024　年　6　月　10　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：LIG五香

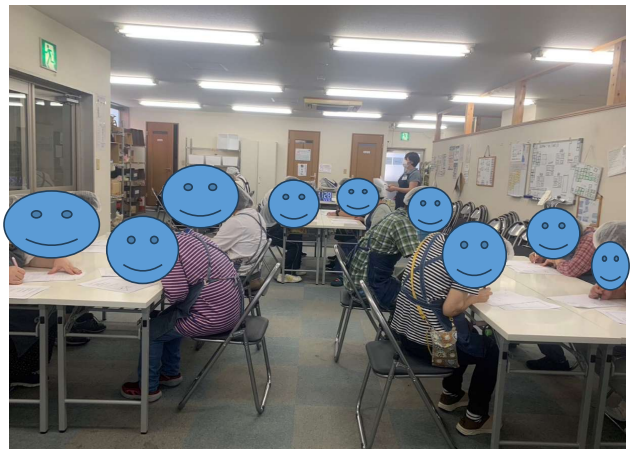
実施日程：２０２４年6月１０日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

【自己理解】働く上で必要な配慮を考える

参加利用者数：３０名

＜活動の様子＞



＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

必要とする配慮を自分自身が理解しておく大切さに気付く。

利用者にとってのメリット：

必要とする配慮を自分ん自信が理解し、伝えることが出来れば、企業の理解を得た上で働けると、自分自身の安心につながる。

＜成果＞

実施した結果：自分の症状や病名をかけない方が多くみられた。また、診断名も医師に言われたものを書いていない方もいらっしゃった。個人ワークのチェック項目で、自分の得意不得意なども見える化することが出来ていた。

得られた成果：“自分の事をわかってほしい”だけではなく、自分で自分の症状の説明をすることが必要だということ認識していただけたと思う。更に自分の苦手のかわしかたなどのヒントが少しずつではあると思うがわかってきたと思う。

課題点：自分自身の自己理解が出来ておらず、対処法を考えたり探す事が難しい。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

事業所の意見・評価：自分の思っている事は漠然とあるが、思いを文章にしていくことに慣れていない方が多く、伝えきれていない方が多かったなという印象でした。自分の思いを言葉にしていく練習が必要かと思うと同時に、こちらも皆さんの思いを聞き出せるような会話ができたらと思いました。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

・自分で何が出来て、何が苦手かの整理が少しついたと思う。
・相手に自分の事を伝えるのにハードルがまだあると思った。
・チェックリストがあったら抜けなく伝えやすいと思った。

様式２

2024　年　7　月　23　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：LIG五香

実施日程：２０２４年7月２３日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

【ビジネスマナー】指示の受け方・メモの取り方

参加利用者数：１６名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

指示を正確に受ける大切さとそのポイントを知る

利用者にとってのメリット：

正しいメモの取り方を学び、円滑に作業ができるようになる

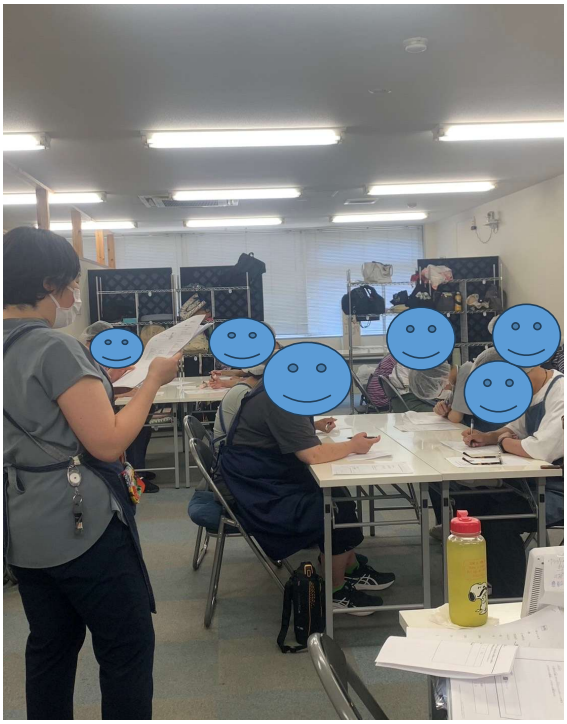
＜成果＞

実施した結果：指示を注意深く聞くことはできていたが、効率の良いメモの取り方を出来ていたのはごく一部の方のみだった。

得られた成果：言われた事＝すべてメモしていたが、必要な事のみをメモをするということが、改めて伝えることが出来た。

課題点：要点を掴むことが難しいようなので、スタッフ側からの指示の仕方を考える必要がある

＜活動の様子＞



連携先の企業や事業所等の意見または評価

毎日同じ商品を扱っているわけではないので、陳列方法や保存方法が季節によっても変更があるので、メモを活用し、情報を共有していただき、品質管理の向上に活かしていただきたいと思います。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

・“必要な事だけメモを取る”というのは分かったが、作業中に瞬時に判断できない。　・書くことが遅いので、メモをとりにくい。

・作業現場で実際にメモの取り方を教えてほしい。

様式２

2024　年　8　月　28　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：LIG五香

実施日程：２０２４年8月２８日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

【コミュニケーション】感謝の気持ちを伝える

参加利用者数：１９名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

コミュニケーション全般の基礎スキルを高める

利用者にとってのメリット：

コミュニケーションの取り方を学ぶことによって、人との円滑なかかわり方を理解することが出来る。

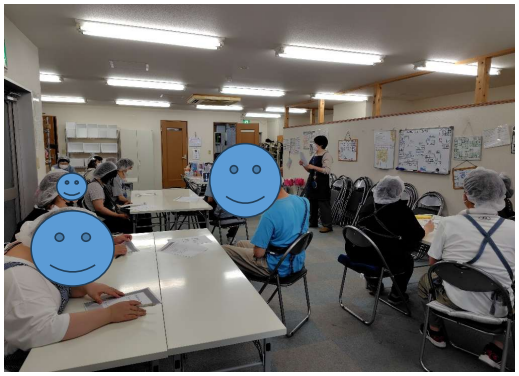
＜成果＞

実施した結果：感謝の気持ちと言葉を思った以上に文字にすることが出来ている方が多かった。日々の作業で仲間へ思っている感謝の気持ちを知ることが出来た。

得られた成果：研修後の作業で、「なるべく目を見て話そうと思ったが難しかった」など、実践で感謝の気持ちをつたようと頑張る方が多く見受けられた。

課題点：顔を見て言うことが出来ない方が多かった。

＜活動の様子＞



連携先の企業や事業所等の意見または評価

感謝の気持ちを伝えることが円滑なコミュニケーションを生むことを再認識することが出来た。
利用者さんとの作業もいつもは指摘事項が多いが、こちらも積極的に感謝の気持ちを伝えて、より良い仕事を今後も一緒にしていきたいと思いました。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

・照れもあり、わざわざ言うことでもないという思いもあったが、言われた方も言った方も気分が良かった。
・顔を見て言うのが恥ずかしく、なかなか難しいと思った。
・感謝の気持ちを伝えるタイミングがわからない。

様式２

2024　年　9　月　24　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：LIG五香

実施日程：２０２４年9月２４日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

【コミュニケーション】話しかけるタイミングを計る

参加利用者数：１８名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

話しかけるタイミングについて学び、実践力を身に着ける

利用者にとってのメリット：

相手の状況に配慮し、他者とのよりよい関係づくりが出来るようになる

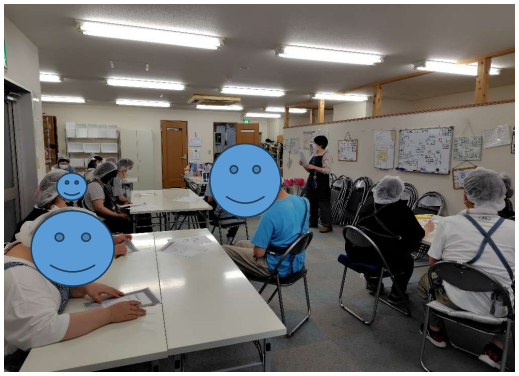
＜成果＞

実施した結果：ほとんどの方が話しかけて良いタイミングがわかっているようでしたが、実践になるとわからないことが多いとのことでした。

得られた成果：相手の状況をみることはなぜ必要なのか、相手の状況を見ることの大切さを改めて知るきっかけとなった。

課題点：ロールプレイングはできていないので、実践に弱い

＜活動の様子＞



連携先の企業や事業所等の意見または評価

一緒に作業する中で、作業について聞きたいことがあっても聞いてくれないこともある。このタイミングが計れないのだと、改めて知ることが出来たので、いつでも利用者のみなさんが話しかけやすいよう雰囲気づくりやジェスチャーをしていきたいと思いました。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

・話を聞いたらこのタイミングということはわかったが、実際の作業の中だと忙しそうにしており、聞きにくい。

・実践となるとハードルも高いが、研修で皆のまでやるのも恥ずかしい。
・表情や態度まで読み取る事まで気が回らない。

様式２

2024　年　10　月　29　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和６年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：LIG五香

実施日程：２０２４年１０月２９日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

【コミュニケーション】相手の話に耳を傾ける

参加利用者数：２４名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

相手の話に耳を傾ける方法を学ぶ

利用者にとってのメリット：

コミュニケーション全般の基礎スキルを高め、上手に話がきけず本人や周囲が困っている事を理解できるようになる。

＜成果＞

実施した結果：
相手の話に耳を傾ける３ステップを１・２まではほとんどの方ができていた

得られた成果：うなづいたり、相槌が出来るようになった。

課題点：　復唱するのが難しい（ステップ３の「相手のいったことを復唱する」が６名しか記入できている方がいなかった。）

＜活動の様子＞

連携先の企業や事業所等の意見または評価

・ こちらからの呼びかけへの返答が少なく感じていたので、全員がうなずいたり、相槌ができるようになると良い。
・ 今回できている方が少なかった「相手の言ったことを復唱する」が出来るようになるとさらに作業効率があがるので、継続的に研修を行っていただきたい。こちらもどこまで理解できているかわからないので、対話を重ねていきたい。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

・復唱の意味はわかるが、どのように伝えたら良いのかわからず記入にかなり迷った。

・ 相槌だけで精一杯で、復唱の事を考えると何を言ったらいいのかわからず焦ってしまう。
・ 相手の話を聞くのは難しい。

様式２

2024　年　11　月　27　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和６年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：LIG五香

実施日程：２０２４年１１月２７日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

【コミュニケーション】上手に断る

参加利用者数：25名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

上手に断る方法について学ぶ

利用者にとってのメリット：

コミュニケーション全般の基礎スキルを高め、円滑なコミュニケーションがとれるようになる

＜成果＞

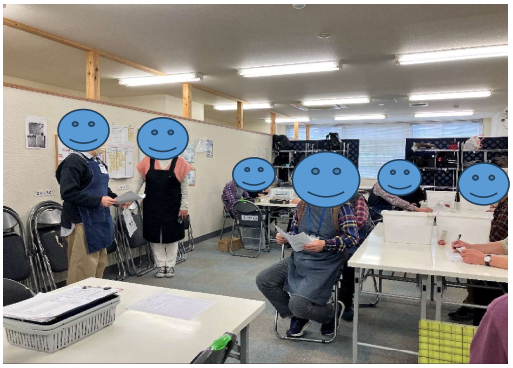
実施した結果：困っていることを聞き出すことが出来た。

自分が困っていることを言葉にすることが出来た。

得られた成果：課題に対して漠然とした不安をいだいたままになってしまうことが分かった。

課題点：聞き出す事に時間がかかり過ぎ、上手に断る練習をすることが出来なかったので、実践又は例題をだし、「どうしたらいいか」自分で考える力を育てることが必要。

＜活動の様子＞



連携先の企業や事業所等の意見または評価

自分の断れなかったことを聞き出すことが、かなり困難なように見受けられた。

「上手く断る」こと以前に日頃のコミュニケーションを通し、「こういう時はこうやって伝えるといいですよ」と伝える方がいいのかなと思った。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

・「断りきれずに困った事を書いてください」といわれたが、文書にすることが出来ず、よくわからなかった。

・断る３つのステップを学びましたが、自分の言葉をうまく当てはめることができなかった。

・「あの時はこういう言い回しをすればよかったのか！」と思い返すことが出来た。

様式２

2024　年　12　月　25　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和６年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：　LIG五香

実施日程：　2024年12月25日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

あいさつの役割、重要性について学ぶ

参加利用者数：　24　名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

「あいさつ」をできるようにすることによって、円滑なコミュニケーションを図りやすくし、社会参加しやすい環境づくりを自分でもできるようにする。

利用者にとってのメリット：

他者とのコミュニケーションを円滑にすることができる。　他者に好印象を与えることが出来る。

＜成果＞

実施した結果：　なぜ挨拶が重要なのか、その必要性と役割を周知することが出来た。また実際に練習をし、実践に繋がる練習をすることが出来た。

得られた成果：　「あいさつ」について、改めて皆さんに考えていただく機会になることが出来た。

課題点：　接客用語を覚えること、場面ごとに考えて声色をかえるなどの使い分けやを覚える必要がある。

＜活動の様子＞

連携先の企業や事業所等の意見または評価

・　接客８大用語の練習ではみなさんとても声がでていたので、是非現場でのお客様の接客に役立てていただきたい。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

・　接客用語を覚えるのが難しかった。
・　苦手な方との作業もあるので、あいさつを利用し、少しでも作業がやりやすい環境づくりが出来ればいいと思う。
・　お客様に喜んでもらえるよう頑張りたい。

様式２

2025　年　1　月　29　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和６年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：　LIG五香

実施日程：　2025年1月29日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

１年間の目標をたてよう

参加利用者数：　23　名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

目標を自分で考え、その目標を実現させるにはどうしたらいいのかということを自分で考えることが出来るようにする。

利用者にとってのメリット：

自分で考え目標をたてることでことで、毎日を充実させることができる

＜成果＞

実施した結果：　全員が自分の目標をたてることが出来ていた。

ほとんどの方が、目標をクリアするには何が必要かを書くことが出来てた。

得られた成果：　自分の課題をクリアするには何が必要かを考えることが出来た。

課題点：　課題クリアへのヒントを出しながらの作業だったが、全ての欄を自ら考えて埋めるのは難しいようだった。

＜活動の様子＞

連携先の企業や事業所等の意見または評価

目標をたてることはできていたが、具体的に自分は何をしたらいいのかがわからない、考えることができないと思っている方が多いように見受けられた。

自分で考える訓練のようなものを先に実施していれば、更に実のある研修になったのではないかと思う。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

- 自分の目標を考えたことはしばらくなかったので、考えるのが難しかった。
- 目標をクリアするには頑張らなくてはいけない事ばかりだと気負いしていたが、「早く寝る」など自分でもできそうなことから始められそうだと思った。

様式２

2025　年　2　月　26　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和６年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：　LIG五香

実施日程：　2025年2月26日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

自分の不安の正体を知ろう

参加利用者数：　19　名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

自分が抱えている不安と向き合い、不安とうまく付き合う方法をみつける

利用者にとってのメリット：

不安に思うことが少なくなれば、安心して日常生活を送ることが出来る

＜成果＞

実施した結果： 不安を知り、不安に思うことは未熟だからではないと伝えることが出来た。対処法と切り替え方法を伝えることが出来た。

得られた成果： 自分が不安に思うことを文字化し、再認識することが出来た。

課題点： 自ら行動し、不安解消方法を考え、相談するところまでのハードルが高いようなので、相談の仕方を伝えるのも必要かと思う。

＜活動の様子＞

連携先の企業や事業所等の意見または評価

- 営業中「わからなかったら聞いてください」と伝えているが、実際質問されることは少ないので、話しかけやすい環境づくりも必要かと思った。
- みなさんが不安に思っている事の聞き取りも大事だと思った。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

- 自分が不安に思っていることは再認識できたが、その先にどう踏み出せばいいのかわからない。
- 自分が持っている不安の向き合い方がわからない。
- いつ相談していいかわからない。

様式２

2025　年　3　月　26　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LIG五香
住　所	千葉県松戸市常盤平5-12-6　第1泉ビル202
電話番号	047-701-5487

事業所番号	1212401721
管理者名	梅村　弓枝
対象年度	令和６年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：　LIG五香

実施日程：　2025年3月26日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

企業が求める人材とは

参加利用者数：　25　名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：

企業が求める人材の基準を知り、現在の自分の課題を発見する

利用者にとってのメリット：

自分の課題を発見し、就労を継続する基盤づくりができるようになる

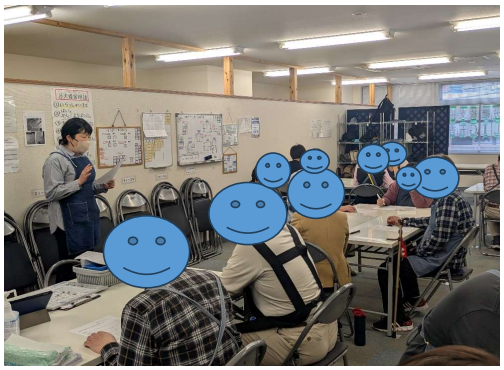
＜成果＞

実施した結果：　心身の安定をメインに考えていただいたが、生活リズムが安定されている方が多く見受けられた。当たり前だが、その当たり前を続けることが出来ることが大事だと伝えることが出来た。

得られた成果：　日頃の生活ルーティンを見直すことが出来た。

課題点：　出来ていることは当たり前だと思っている方が多く、継続して当たり前を続けることがどれだけ大事な事かを継続的につたえ続け、自己肯定感をあげていくことが必要だと思う。自分の課題について自覚がない方もいるので、その方に課題を伝えていく工夫が必要だと思った。

＜活動の様子＞



連携先の企業や事業所等の意見または評価

企業としては、安定した勤怠、体調管理が出来る方だと助かるが、体調に不安がある方々なので、こちらも配慮できるように障害特性を知ること、コミュニケーションを取ることが大切だと思った。

連携先企業（担当者）	株式会社　ミナカワ　担当者

利用者からの意見・評価

- 生活リズムが乱れているのは自分でもわかってはいるが、なかなか直すことが難しい
- 今の状態が安定している状態と思っていなかったので、少し自信に繋がった。
- 自分の症状の対処法がわかっておらず、不安が残った。